

モニタリング結果報告書（平成25年度上半期）

施設	伊勢原射撃場
指定管理者	一般社団法人神奈川県射撃協会
指定期間	H25.1.1 ～ H30.3.31
施設所管課	スポーツ課 ()

今期の指定管理者の管理運営状況（1～6の結果を踏まえた総合評価）

B

（総合評価の基準）

- A：極めて良好な管理運営状況である。
（「1 管理運営等の状況」を含むAが3つ以上で、CとDが1つもない場合）
- B：良好な管理運営状況である。
（Cが1つ以下でDがない場合）
- C：一部改善が必要な管理運営状況である。
（Cが2つ以上の場合。または、Dが1つの場合）
- D：抜本的な改善が必要な管理運営状況である。
（Dが2つ以上の場合）

<p>< 1 管理運営等の状況 > 施設利用者からの要望等にも積極的に対応するなど、指定管理者としての努力が認められ、来客等へのサービスに取り組んでいることが確認できた。本施設は、平成14年度からの休場以来11年ぶりに再開場したところであり、改善点は少なくないが、概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施できたことから、B評価となった。</p> <p>< 2 収支状況 > 11年間の長年に渡って休場していた射撃場という特殊な施設であることや、周辺環境への配慮から利用時間延長等の利用促進策は困難であるなどの制約の中、利用料金収入が伸びなかったものの、収支差額はマイナス1千円に留まったことからB評価となった。</p> <p>< 3 利用状況 > 利用者数が目標対比増減率で9.7%のマイナスとなったため、C評価となった。今後、施設運営が軌道に乗り次第、利用者の確保に向けた、広報活動やサービスの向上に努めてもらいたい。</p> <p>< 4 利用者の満足度 > 9月に実施し、「満足（上位2段階の回答割合）」が76%となったためB評価となった。利用者満足度において、「満足」以上が80%未満であるが、「普通」の評価と併せれば、94%と高い評価を得ているため、これを引き続き維持して欲しい。</p> <p>< 5 苦情・要望等 > 施設の構造上の問題であるが、利用者からの声を踏まえた適切な対応を行ったためB評価となった。</p> <p>< 6 事故・不祥事等 > 日ごろより利用者の安全管理に注力していることから、A評価となった。</p> <p>< 今後の方針等 > 引き続き、利用者の安全管理の徹底と将来の射撃競技人口の裾野の拡大に資するような施設の管理運営を期待したい。また、利用者からの要望を踏まえたイベント等を実施する等、更なる利用者の拡大に努めてもらいたい。</p>
--

1 管理運営等の状況

評価 **B**

（評価の目安）

- A：事業計画、仕様書等の内容を上回る事業を実施した。
- B：概ね事業計画、仕様書等の内容どおりに事業を実施した。
- C：事業計画、仕様書等の内容のうち、一部の事業を実施していない。
- D：事業計画、仕様書等の内容のうち、半数以上の事業を実施していない。

(1) 事業の実施状況

	提案内容	実施状況等
1 (指定管理業務)	<p>【施設の維持管理について】 施設内の改修を含む維持管理については、射撃場の利用者への直接的サービスの低下につながらないよう、優先して取り組む。</p>	<p>施設全般において経年劣化による影響が多いものの、常に利用者目線で施設整備、修繕を行うことにより、利用者が快適に利用できるような環境の整備に努めた。 今後も利用者の安全第一、「行って良かった」と思っただけのような射撃場の管理・運営に真摯に取り組んでいく。</p>

	提案内容	実施状況等
2 (指定管理業務)	<p>【事故防止のための安全指導】 射撃場の責務として、単に射撃競技の実施のみならず、利用者の射撃技能の向上、安全対策、安全意識の啓蒙に努める。</p>	<p>初心者も含め、全ての利用者の安全確保のため、事務所備え付けのモニター画像で複数の職員が常時監視し、事故防止、安全対策に努めている。 また、必要に応じて安全に配慮した技術的指導を実施した。(被指導者数約20名)。 このことについては、「安全は全てに優先する。」をモットーに今後も継続していく。</p>
3 (指定管理業務)	<p>【ニーズに合った射撃場運営】 関東近隣の射撃場は、必ずしも銃所持者のニーズに対応できる施設が整備されていないのが現状である。 当射撃場は、射撃愛好者以外にも狩猟者の猟期終了後の残弾処理の場、また、銃を所持していない子供から大人までが自由に楽しみながら射撃ができるような総合射撃場として、利用者の期待に応えていく。</p>	<p>クレー射場においては3号以下の散弾、ライフル射撃場においては10.5mm以下のライフル銃(大口徑)と12番以下の散弾銃(単弾使用のみ)及び前装銃(火縄銃)と、ほとんどの装弾を使用できるように公安委員会に申請した。その結果、これらの銃の使用が可能となり、広くニーズに応える環境を整えた。 更に、近年急速に普及してきたハイパワー空気銃の実射については、他の射撃場では受入れができず、当該銃所持者からの強い要望を受け、大口徑射場の整備を行い、ハイパワー空気銃が使用出来るようにした。 また、銃の所持免許を持たない一般の子供から大人までが自由に射撃を楽しめる、ビームライフル銃(光線銃)を活用し、地元の伊勢原市や地元高校生を中心に普及促進を図った。</p>
4 リストから選択	提案内容の要旨を記載	実績又は今後の見込みを記載
5 リストから選択	提案内容の要旨を記載	実績又は今後の見込みを記載

(2) 月例報告書による確認状況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考(指導事項等)
			月報確認	現場確認	電話確認		
4月	25. 5. 10	25. 5. 30	○	—	○	無	
5月	25. 6. 10	25. 7. 8	○	—	○	無	
6月	25. 7. 10	25. 8. 5	○	—	○	無	
7月	25. 8. 12	25. 8. 29	○	—	○	無	
8月	25. 9. 9	25. 9. 27	○	—	○	無	
9月	25.10. 9	25.10.31	○	—	○	無	

※基本協定書上の月報等提出期限

翌月の 10 日まで

2 収支状況

評価 **B**

(評価の目安)

収支計画（支出額）と比較して

- A：収支状況が良好である（収支差額のプラスが10%以上）。
- B：概ね計画どおりの収支状況である（収支差額がプラスマイナス10%未満）。
- C：計画と異なり、収支差額に10%以上20%以下のマイナスが生じている。
- D：計画と異なり、収支差額に20%を超える大幅なマイナスが生じている。

単位：千円

		収入額（自主事業収入は除く）			収入合計	支出額		収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入		うち納付金		
募集時の県積算額 (参考)		0	72,053	23,353	95,406	95,406	2,260	0
年度計画	前年度	7,645	0	0	7,645	7,645	0	0
	上半期				0			0
	下半期	7,645			7,645	7,645		0
	今年度	0	65,350	37,003	102,353	102,353	4,407	0
	上半期		32,675	18,502	51,177	51,177	0	0
	下半期		32,675	18,501	51,176	51,176	4,407	0
上半期実績	4月		1,911	1,360	3,271	4,363		▲ 1,092
	5月		3,421	3,532	6,953	5,840		1,113
	6月		2,930	2,461	5,391	5,987		▲ 596
	7月		3,499	2,637	6,136	6,466		▲ 330
	8月		3,248	2,484	5,732	5,636		96
	9月		3,468	2,607	6,075	5,267		808
	上半期合計	0	18,477	15,081	33,558	33,559	0	▲ 1
	対収支計画比		▲ 43.5%	▲ 18.5%	① ▲ 34.4%	② ▲ 34.4%	③	0.0%
参考	前年度 上半期実績合計				0			0
	対前年度 上半期実績比							

※その他収入の内容 射撃標的（クレ－皿など）の販売収入

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	収支計画と異なる理由等
① 収入の増減（収支計画対比±10%以上）	○	射撃音を発する施設のため、周辺環境への配慮から利用時間延長等の利用促進策は困難であり、また、再開初年度で大会誘致等が限定的なものとなったため、利用料金収入が伸びなかった。なお、11年間の休場により、再開後の利用動向予測は困難であった。
② 支出の増減（収支計画対比±10%以上）	○	収入の伸びが低迷する中、経費節減を徹底することにより、支出の抑制に努めた。
③ 収支差額のマイナス（上半期収支計画支出額対比）	×	

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等

基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：協定書上県による負担はない

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等

支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等

積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

3 利用状況

評価 **C**

(評価の目安)

今年度上半期利用者数が、
目標対比増減率で

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(目標利用者数等を設定していない場合、前年同期対比増減率で)

- A : 105%以上
- B : 95%以上～105%未満
- C : 85%以上～ 95%未満
- D : 85%未満

(入所施設等定員がある場合、定員比で)

- A : 100%
- B : 90%以上
- C : 80%以上
- D : 80%未満

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
4月	1,216 人	人	%
5月	2,106 人	人	%
6月	1,506 人	人	%
7月	1,281 人	人	%
8月	1,897 人	人	%
9月	1,572 人	人	%
合計	9,578 人	0 人	%

	利用者数	前年同期利用者数	目標利用者数 (または定員数)	目標(定員) 対比増減率	前年同期 対比増減率
上半期計	9,578 人	0 人	10,601 人	① 90.4 %	② %
下半期計	— 人	— 人	— 人	— %	— %
合計	9,578 人	0 人	10,601 人	▲ 9.7 %	%

※目標値の設定の有無

期間
基準

設定している
通年
指定管理者提案値

その他の場合の期間
その他の場合の基準

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 目標対比±5% (目標値対比増減率105%以上または95%以下)	○	目標利用者数は、休場前の利用者数から推計したものであるが、11年間の休場により、再開後の利用動向予測が困難であったこともあり、また、再開初年度で大会誘致等が限定的なものとなったため、目標対比増減率が約90%に留まった。 施設運営を軌道に乗せ、利用者の拡大に努めたい。
② 前年対比±5% (前年同期対比増減率105%以上または95%以下)		

<参考>

施設の最大利用可能人数

※利用種目、時間、流動人数など条件により異なり算出不可

							合計
定員(1日あたりの延べ人数)							0
年間利用可能日数							
最大人数	0	0	0	0	0	0	0
半期	0	0	0	0	0	0	0

※複数の施設がある場合は個別に記入する。

4 利用者の満足度（アンケート結果）

評価 **B**

（評価の目安）

「満足」（4段階評価及び5段階評価の場合、上位2段階）と答えた割合が

A：80%以上

B：60%以上～80%未満

C：40%以上～60%未満

D：40%未満 又は（A～Cにかかわらず）「不満足」と答えた割合が50%以上

－：今期は実施していない

	とても良い	良い	普通	悪い	とても悪い	合計	上位2段階の割合
総合満足度の回答結果	92	34	30	10	0	166	126 (76.0%)

※今年度の実施予定

※配布・回収件数

※実施方法

上半期	1	回	下半期	1	回	その他	
配布	339	件	回収	169	件	回収率	49.9% %
	利用者等に配布		リストから選択		リストから選択		リストから選択

5 苦情・要望等

評価 **B**

（評価の目安）

A：要望等を積極的に把握して改善を行う等、サービス向上を図った。

B：指定管理者に起因しない苦情・要望等があったが、適切に対応した（苦情・要望等がない場合も含む）。

C：指定管理者に起因する苦情・要望等があったが、適切に対応した。または、指定管理者に起因しない苦情・要望等があり、適切に対応していない。

D：指定管理者に起因する苦情・要望等があり、適切に対応していない。

報告件数

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	簡易アンケート等	
上段：報告件数	0	0	0	0	0	0
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

苦情・要望等への対応

該当あり

分野	概要	対応状況
施設・設備	トラップ射撃場の自動販売機に柵がない	自動販売機を安全な場所に移動することにより対応した
	大口径棟での標的交換の際足場が悪い	利用者が行き来できる通路を設ける措置を講じた
職員対応		
事業内容		
その他		

※ 指定管理者に起因するものは必ず記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

6 事故・不祥事等

評価 **A**

(評価の目安)

- A : 事故・不祥事等を防止するために積極的に取り組み、事故等が発生しなかった。
- B : 軽微な事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した（事故等が発生していない場合も含む）。
- C : 事故・不祥事等が発生したが、適切に対応した。または、軽微な事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。
- D : 事故・不祥事等が発生し、適切に対応していない。

発生状況及び対応状況

該当なし

発生日	事故等の概要	原因・問題点	指定管理者の対応状況・改善策等

随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果等
()		
()		
()		